

「ファミリープールエリア再整備基本構想（案）」に対する市民意見募集結果（意見件数５４件）

区分	番号	意見の概要	本市の考え方
計画全体			
	1	ファミリープールエリア再整備基本構想案に賛同する。	再整備にあたっては、エリア全体を親を含めた保護者や子どもたちが将来に夢や希望を持てるワクワクする、日常的に安心し平和を実感できる場としていくことを目指し、様々な機能を持つ居場所を提供できるよう新たな施設を整備することとしています。 この度、皆様から寄せられた御意見を踏まえながら、御期待に応えられるような施設を目指していきたいと考えています。
1 計画地の概要			
計画地の概要		（御意見なし）	
2 ファミリープールの状況			
(1) 施設状況	2	現在のプール内に設置されている木内克作の彫刻「人魚」は、新施設に再設置してほしい。	人魚の像については、新たな施設内への再設置や中央公園内での移設等について、今後検討を進めていきたいと考えています。
(2) 整備の背景		（御意見なし）	
(3) 顕在化している課題	3	中学生や高校生が公共交通機関で行きやすい場所であり、都心部という立地を最大限有効活用してほしい。	様々な交通手段で訪れることができる中央公園において、ひろしまゲートパークやエディオンピースウィング広島、広島城三の丸エリアなど、賑わい施設の整備が進んでいる中で、更に賑わいを高めることができるよう、周辺の施設と連携しながら、年間を通して利用できる施設となるよう取り組みます。
3 新たな施設の機能・整備の考え方			
機能の考え方 （プール機能）	4	ファミリープールは市民の記憶に残る景色の一つであるため、機能として残してほしい。	市民アンケート調査の結果、市内にレジャープールの整備を望む方は全体の約８割、現在の場所に整備を望む方は全体の約６割でした。こうしたことから、新たな施設はプール機能を有する施設とするよう考えています。
	5	ファミリープールを作ってほしい。	
	6	プールを残してほしい。	
	7	プール機能を含めた施設の再整備をしてほしい。	
	8	夏場の野外プールは継続してほしい。	
	9	夏季限定のプールは、現在地ではなく、車で行きやすい西飛行場跡地に造れば良いと思う。	
	10	流れるプールや５０mプールは、他の施設（民間レジャー施設や各区のスポーツセンター等）を利用すれば良く、新たな施設には必要ない。	
	11	ファミリープールは、同じ場所に整備する必要はないと思う。こどものエリアは、都心部ではなく、駐車場が完備できる場所に整備した方が良いと思う。	
	12	ちゅーピープールが閉園し、近郊にレジャープールないため、本格的なレジャープールが必要である。新たに建設するのであれば、広域からも集客できるような施設にすべきであり、敷地が狭い現在地にこだわる必要はない。	

区分		番号	意見の概要	本市の考え方
	(その他の機能)	13	周辺は、こども文化科学館やこども図書館、スタジアムパークの大型遊具があり、こどもを遊ばせやすい空間になっている。その立地を活かし、ファミリーが年中楽しめる空間にしてほしい。	再整備にあたっては、エリア全体を親を含めた保護者やこどもたちが将来に夢や希望を持てるワクワクする、日常的に安心し平和を実感できる場としていくことを目指し、様々な機能を持つ居場所を提供できるよう新たな施設を整備するよう考えています。
		14	子ども・若者の遊び場として、年中利用できる施設にしてほしい。	
		15	中央公園エリアがファミリーで訪れやすい場所になれば、広島市がさらに盛り上がると思うので、子どもが楽しく過ごせるエリアに整備してほしい。	
		16	小さなこどもたちや中高生が楽しめる施設にしてほしい。	
		17	こどもや家族連れだけでなく、その他の市民や世代も利用できる施設にしてほしい。	
		18	こどもゾーン全体として調和のとれた施設群としてほしい。	周辺の施設と連携して賑わいを創出していくことはもとより、特にこどもゾーンの各施設とは一体性のある連携ができるよう、導入機能や運営等について調整を行っていくよう考えています。
	具体的な施設事例 (プール施設)	19	波のプール、流れるプールを造ってほしい。	
		20	屋内型のレジャープールとして整備してほしい。温水プールすれば、夏期以外も利用できる。	
		21	通年利用できるプールにしてほしい。	
		22	天気によらず年中利用できるドーム型の屋内プールにしてほしい。	
		23	屋根付きのプールを設けてほしい。	新たな施設の整備にあたっては、こどもたちが将来に夢や希望を持って、ワクワクする場としていくことを目指しており、この度の皆様から寄せられた御意見も参考にしながら、ニーズに応えられる内容になるよう検討を進めていきたいと考えています。 なお、具体的な整備内容は、民間事業者から提案を募り、最も優れた内容を採用するプロポーザル方式により決定するよう考えています。
		24	掘り込み式の流れるプールを設置してほしい。また、車椅子でも楽しめるように、プールに向かって浅瀬のように緩やかなスロープをつけるなどの工夫をしてほしい。	
		25	屋内型の温水レジャープールを整備すれば通年利用が可能になるが、光熱費等の維持費や将来的な修繕費が高額になると予想される。屋外型との比較検討を行い、市民に結果を示してほしい。	
		26	サッカースタジアムからの視線を遮る工夫をしてほしい。	
		27	冬期はスケートリンクとして使用出来るようにすることで年中稼働出来る。	
		28	冬は屋外スケートリンクにするなど、1年を通してこどもが集まり楽しめる場所にしてほしい。	
		29	プール整備にあたっては、周辺施設からの視線に配慮した構造や配置にしてほしい。冬はスケートリンクとして利用し、ひろしんビッグウェーブを通年でプール利用できるようにしてほしい。	

区分		番号	意見の概要	本市の考え方
(その他の施設)	30	小さな子供たちが水遊びできる程度の公園で良い。	新たな施設の整備にあたっては、こどもたちが将来に夢や希望を持って、ワクワクする場としていくことを目指しており、この度の皆様から寄せられた御意見も参考にしながら、ニーズに応えられる内容になるよう検討を進めていきたいと考えています。 なお、具体的な整備内容は、民間事業者から提案を募り、最も優れた内容を採用するプロポーザル方式により決定するよう考えています。	
	31	広島市民だけでなく、中四国地域や遠方からでも、ここを目的地として観光に訪れたいと思うような施設を導入してほしい。		
	32	子育て世代が定住したいと思えるような施設を整備して欲しい		
	33	体験スペースや遊具など、階層別に子供たちが楽しむことのできる総合的な施設にしてほしい。温浴施設もニーズがあると思う。		
	34	夏が暑すぎて外では遊べないので、屋内施設にしてほしい。		
	35	年間利用できる屋内施設としてほしい。		
	36	大型遊具やドーム型で水着着用の温浴施設、プール施設、天気や気温に関係なく実施できるイベント・広場空間、飲食施設などを設置してほしい。		
	37	児童センターを整備してほしい。インターネット環境や、バンド活動ができる音楽室、イベントができるホール、勉強できる自習室、会議や講習ができる会議室、小さなこどもが遊べる部屋などを備えた施設にしてほしい。立地が良いので、こどもたちのための機能を充実させてほしい。		
	38	学習施設や医療機関などを整備してほしい。		
	39	東広島市の「のん太の酒蔵」のようなスポットにしてほしい。		
	40	動物、植物、昆虫などのみどり生きもののエリアを設けてほしい。		
	41	動物と触れ合える広場を設けてほしい。		
	42	動物保護施設を整備したら良いと思う。また、ドッグランを設ければ犬を飼っている人も使える場所になる。運営は市とボランティアなどでできると思う。		
	43	こども連れは車でプールに来ることが多いため、駐車場を整備してほしい。	都心部で多様な交通アクセスが集積しており、公共交通機関や自家用車、自転車など様々な手段での来園が考えられることから、現在のファミリープール営業中における過不足状況等を参考にしながら、利用しやすい施設になるよう検討していきたいと考えています。	
	44	駐車場も隣接して欲しいです。パニック障害等ある子供を連れて行きたく車椅子使用の為。		
45	自転車での来園が多いため、十分なスペースの無料駐輪場を確保してほしい。また、こどもやチャイルドシート付きの自転車が駐輪しやすいように、平面駐輪場としてほしい。			
4 事業手法				
(1) 民間活力の導入	46	民間活力を導入しなくても、現在のプール管理事業者に任せれば良いと思う。	本事業では、官民連携手法により施設の設計・整備・管理運営を一体的に実施することで、民間事業者が有する高度な技術や運営ノウハウ、資金力などの民間活力を導入でき、市の財政負担の軽減や質の高いサービスの提供等が可能になるものと考えています。 現在の管理運営体制とも比較しながら、引き続き、本事業に最適な事業手法を検討していきたいと考えています。	

区分		番号	意見の概要	本市の考え方
	(2) 民間活力導入に期待する効果	47	民間活力導入により市の財政負担の軽減とあるが、民間企業は利潤を出す必要があり、そのため利用料金の値上げや人件費の削減が行われることが考えられる。利用料金が高ければ市民が気軽に使える施設にはならないし、安い人件費も問題があるため、よく検討してほしい。	事業手法の検討にあたっては、主な利用者となるこどもたちが利用しやすい料金とすることも意識しながら、引き続き、本事業に最適な事業手法を検討していきたいと考えています。
	(3) 官民連携手法	48	民設・民営とし、公金で補助する手法が望ましい	
		49	大規模プロジェクトで成功実績のある株式会社刀にコンサルティングを依頼したら良いと思う。	
		50	行政主体で中途半端な施設を造るより、民間に最大限補助をつけて造らせた方が良い施設ができると思う。	
		51	現在のファミリープールを管理運営している公益財団と民間と市との３社運営にした方が良いと思う。	
5 事業スケジュール				
	(整備期間)	52	工事期間が長すぎる。	工事期間については、民間事業者ヒアリングにより意見を聞きながら検討を行い、働き方改革による施工体制の適正化や人材確保が難しい状況であるといった意見などを踏まえて設定しています。 今後、出来るだけ早期完成に向けて、更なる工期短縮を検討していきたいと考えています。
	(整備期間中のプール営業)	53	工事期間中もこどもたちがプールで遊べるよう、令和９年度以降も部分的にプール営業をしてほしい。	ファミリープールは、夏の風物詩として市民に親しまれ、年間約１０万人が利用する施設であり、また、ちゅーピープールが令和６年で営業終了となったことから、休止期間をできるだけ短くするよう努める必要があると考えており、今後も更なる工期短縮を検討するよう考えています。 また、工事期間中に一部区域でプール営業が可能かどうか、民間事業者の意見を聞き取るとともに、整備スケジュールへの影響を鑑みながら検討していきたいと考えています。
その他				
	(意見募集の対象)	54	こどもを対象とする施設であるのに、こどもから意見を募っていないのではないか。こどもを対象とした意見公募をするべきである。	この度の意見募集においても、こどもを含む全ての世代から意見を受け付けていましたが、今後、具体的な整備内容を決める際には、施設の主な利用者となるこどもたちから意見を聞きたいと考えています。